

奥会津だより



雪の少ない正月は
夏の田畑の水が案じられる
春まで土に預けた大根も
浅い雪に まだ身を隠せない
豪雪の奥会津
本当の冬はこれからだ



私のおじいちゃん

柳津町立西山中学校 二年 渡部 涼花



取材ノート

祖父：渡部 安則さん
 (昭和二十三年生 六十八歳)
 孫：渡部 涼花さん
 (平成十四年生 十四歳)
 (西山中二年)



この写真は、会津農林高等学校とって、西山に、分校があった時の写真です。語り手になつてくれた人はおじいちゃんです。おじいちゃんは一九四九年の、八月二十六日に生まれました。
 ・じいちゃんは、何人家族だったの？
 ・俺の家は、五人家族だったなあ。
 ・高校の生徒数は？
 ・二十六人だった。
 ・学校に行く日は？
 ・月曜日と火曜日と水曜日と木曜日だった。んだから、週に四日いけばよかっただ。
 ・どうして？
 ・家が農家だから、農業をしながら勉強しなごいどいけなかったからだ。だから、四年生まであったんだぞ。
 ・いや。楽しかったぞ。
 おじいちゃんから、このようなことを聞いて、昔は、農業と勉強を両立していたのは、今、考へたら、大変なことだけど、楽しかったと思ひました。すごくかっこいいなあ

Q：会津農林高等学校西山分校というの、どこにあったのでしょうか？

A：安則さん：郵便局とか学校のある砂子原にあったの。今は役場の支所交流センターになってるんだ。

Q：農場はどこにあったのですか？

A：安則さん：学校林といって、地熱発電所の奥の方にあつたんだ。そこで刈り払いをしたり、雪が消えたら「杉おこし」をしたりしたんだ。高校卒業する年だったな、開墾もしたなあ。オレたちみんなノコギリ持って行って木を伐って、測量をしたり蕎麦を植えたりして、学校の農場を作ったんだ。

Q：作業は、今の風景とは違いますね？

A：安則さん：みんな手作業だもの、今なんか夢みたいだ。ただなあ、ノコギリの目立ては親がやってくれたし、道具は一流品、オレたちは伐るだけ。

Q：高校の同学年に、女子は何人ぐらいいたのですか？

A：安則さん：何人だったかなあ、十一人ぐらいいたかな。農業科と家政科が一緒に、専門科目は別に分かれて勉強したわけ。

Q：先生方は何人ぐらいでしょうか？

A：安則さん：写真の前列にいる人たちが先生だからな、分校長がいて塔寺の酒井先生とか十一人ぐらいだったな。

Q：お父さんは、どんなお仕事をしていたのですか？

A：安則さん：横須賀の海軍工廠(こうしょう)に居た時に鍛冶屋をやっていたらしいが、ここでも鍛とかやったらしく、食えなかったの、炭焼きをやったんでないかな。こはいい炭の産地で、千三百度の工業炭(白炭)を出していたんだ。炭の窯が大事で、オオタケ式と何とか式二つあったな。ウチの親父の人生は、炭焼きで終わったんだなあ……。

Q：涼香さん、じいちゃんの話聞いて、どうでしたか？

A：涼花さん：今は勉強と部活だけれど、昔は、勉強と農作業で大変だったんだな、と思ひました。

Q：進学とか、将来の夢は？

A：涼花さん：パティシエに興味があるので、会津農林高校の食品加工科を志望しています。

Q：安則さん…ここ西山でやるんだもん、美味いパン作ったりなあ。

A：涼花さん：パンではないけど、ここで作ることを考えています。

Q：安則さん…そこが大事だ。ここでも、何かしら生き残る道はあるわけだからな。地元に残って守って行かねばならない、って気持ちを若い人たちに持つてもらわないとなあ、先祖様たちも生きてきたんだから……。

(写真・文責：菅 敬造)

不思議な話

問方のキツネ

菅家アイ子さん談

(昭和八年生まれ・三島町問方)

私が子どもの頃のこた。近所の男の子が川でお兄ちゃん和水遊びしていた。きれいな水で、夢中になって遊んでいたが、ふと気がつくど弟がいな。これは大変だとムラ中でヤイヤイ騒いで探した。そうしたら、上のほうで「あーん」と泣く声がする。見ると、とんでもない高い崖の上にその子がいた。体中傷だらけだった。四つぐらいの小さい子がそんなところまで一人で行くわけがない。キツネが、母親が兄になって見せたから、子どもは安心してついていったんだ。その子はニシンか何か持たされて、魚くさかったから、キツネが連れていったんじゃないかって。これは本当にあった話だよ。いって、舅が体験した本当の話だよ。

『会津物語』より抜粋

奥会津の食材と料理

えご



乾燥保存していたえご草という海草を煮詰めて、型に入れて冷ます素朴な料理は、奥会津の一部の地域では冠婚葬祭の膳に必ず登場する行事食のひとつ。わさび醤油やしょうが醤油で食す。細切りして三杯酢で和えるのも美味。



曆に添う暮らし

道踏み

降りしきる雪は道を覆い隠す。除雪車が走る大通りまでの長い路地は、雪が降るたびにカンジキで踏み均して道をつける。毎日何度も新しく拓かれる白い道は、カンジキの丸い踏み跡が美しい。踏み人の汗のあとだ。

翼を広げれば2mを超える巨大なワシ。深山が生息地とされるが、奥会津では意外と身近にいる。たいてい山稜のはるか上空にケシ粒のような姿で現れるので、気づく人はまずいない。この奥ゆかしさをイヌワシ。



イヌワシ

奥会津の生き物たち

写真・文：新国 勇



ニホンカモシカ

国の特別天然記念物。かつて幻の動物といわれていたが、いまでは十分な数に回復した。見晴らしのよい場所にいることが多いので、冬に見つけやすい。雪上の足跡をたどりながら、じっくり探せば出会うことができる。



子どものいる風景

写真・文 竹島 善一

道端の雪、屋根からの雪は、路地を埋め尽くさんばかりに積る。

女の子がカマクラ遊びの穴を掘っている。女の子も男の子も一緒に遊ぶが、男の子の身の構えがよい。雪国の風土が、強靱な男に育てるのだ。

(昭和五十五年一月 三島町)

Q方言クイズ

クイズに答えて奥会津の地場産品を貰おう!

問題：次の方言の意味は何でしょう?

「杉おこし」 ヒント：P2.「聞き書き百選を参照」をご参照下さい。

正解者の中から抽選で2名様に、南会津町館岩の「黒角盆(センノキ)」をプレゼントいたします。

●応募方法：官製ハガキに奥会津だよりの感想、住所、氏名、電話番号を明記の上、答えをお書きください。

●あて先：〒969-7511
福島県大沼郡三島町大字宮下字中乙田979
奥会津書房 宛

●応募締切：2017年2月15日消印有効

※当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。※クイズの答えは次号97号で発表いたします。



◎95号「ワラダ」の答え：カイコの飼育用具

たくさんのご応募ありがとうございました!

読者コーナー

●新潟からの旅行の際に手に入れ読ませて頂きました。奥会津の風土や伝統に興味の湧くような内容で、また訪れた際は読みたいと思います。(新潟市：A.Sさん)

●昨年初めて三島町へ。奥会津の魅力に惹かれ今年も2回訪れました。もっと知りたいと思い、道の駅でふと手に取った「奥会津だよりの」。表紙の写真に心をわしつかみされました。ゴザに大事においてあるナメコ籠の横で、おばあさまはきちんとと正座。この場にふさわしい姿のワンちゃん。何気ない日常の姿に、奥会津だよりの編集者のあたたかな視線を感じます。(東京都：H.Kさん)

●懐かしい里の風景、表紙に惹かれて初めて手にしました。頁をめくると興味深い記事ばかり。隅々まで読んでしまいました。単なる観光情報やグルメ情報が氾濫する中であって、心に伝わってくる誌面作りです。良いものに巡り会った気分です。ありがとうございます。(埼玉県行田市：K.Mさん)

●むかごの天ぷらは目からウロコ。若いときに塩茹でにして食べたことはあります。これからもめずらしい食材と料理の紹介をお願いします。(会津若松市：W.Kさん)

奥会津だよりの定期購読者募集中

ご希望の方は事務局まで発送先(ご住所・お名前)をご連絡ください。

問い合わせ先：只見川電源流域振興協議会事務局

TEL.0241-48-5525 FAX.0241-48-5575

E-mail: webmaster@okuaizu.net

《奥会津振興センターからのお知らせ》

第7回 歳時記の郷 奥会津ブランドフェア 2017

日時 平成29年3月3日(金)～4日(土)

会場 コラッセふくしま 1階
(JR福島駅西口出口より徒歩3分)
〒960-8053 福島市三河南町1番20号
TEL: 024-525-4031

奥会津の特産品や六次化推進事業で開発してきた新商品の発表と販売を、コラッセふくしまを会場に開催いたしますので、多くの皆さまのご来場をお待ちしております。

❖問合せ 只見川電源流域振興協議会 TEL0241-48-5525

奥会津イベント情報

2月～3月

日時	イベント名	町村名	場所	問合せ
2月4日(土)～5日(日)	第37回会津やないづ冬まつり	柳津町	道の駅会津柳津	柳津町役場地域振興課観光商工班 ☎0241-42-2114
2月11日(土・祝)	第45回雪と火のまつり	三島町	三島町町民運動場	三島町観光協会 ☎0241-48-5000
2月11日(土)～12日(日)	第45回只見ふるさとの雪まつり	只見町	只見駅前広場	只見ふるさとの雪まつり実行委員会(只見町観光商工課内) ☎0241-82-5240
2月18日(土)	読売杯南郷スラローム大会	南郷地域	会津高原南郷スキー場	会津高原南郷スキー場 ☎0241-72-2111
2月18日(土)～19日(日)	第44回クロスカントリースキー伊南杯	伊南地域	伊南クロスカントリーコース	南会津町観光物産協会伊南観光センター ☎0241-64-5711
2月19日(日)	高畑技術選手権		会津高原高畑スキー場	会津高原高畑スキー場 ☎0241-76-2231
	第39回会津かねやま雪まつり	金山町	金山町民体育館グランド	金山町役場産業課商工観光係 ☎0241-54-5327
2月26日(日)	第34回からむし織の里雪まつり	昭和村	道の駅からむし織の里しょうわ	からむし織の里雪まつり実行委員会(昭和村観光協会) ☎0241-57-3700
3月5日(日)	第15回福島民報杯会津高原たかつえB級GSポイント大会	館岩地域	会津高原たかつえスキー場	南会津町観光物産協会館岩観光センター ☎0241-64-5611
3月18日(土)～19日(日)	第36回三島町生活工芸品展 第16回全国編み組工芸品展	三島町	三島町生活工芸館 三島町交流センター山びこ	三島町生活工芸館 ☎0241-48-5502
3月20日(月・祝)	第7回高畑スプリングレース	伊南地域	会津高原高畑スキー場	会津高原高畑スキー場 ☎0241-76-2231
3月25日(土)	2017林千春メモリアルSAF公認記録会	檜枝岐村	尾瀬檜枝岐温泉スキー場	スキー大会事務局(檜枝岐村役場総務課内) ☎0241-75-2500
3月26日(日)	第41回SAF公認朝日杯スラローム大会			スキー大会事務局(檜枝岐村役場企画観光課内) ☎0241-75-2503



発行：只見川電源流域振興協議会(柳津町・三島町・金山町・昭和村・只見町・南会津町(南郷、伊南、館岩地域)・檜枝岐村)
発行日：1月16日発行(年6回発行) 事務局：〒969-7511 福島県大沼郡三島町町民センター(奥会津振興センター内) TEL.0241-48-5525
http://www.okuaizu.net ☐webmaster@okuaizu.net 編集：奥会津書房 福島県大沼郡三島町宮下 TEL.0241-52-3580

★只見川電源流域振興協議会は、福島県只見川流域の7町村の活性化と振興を図るために活動している団体です。

この冊子は電源立地地域対策交付金の事業により作成されています。